

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【公表番号】特表 2018-527076 (P2018-527076A)

【公表日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-036

【出願番号】特願 2018-509507 (P2018-509507)

【国際特許分類】

A 4 4 B 11/28 (2006.01)

A 6 2 B 18/08 (2006.01)

【F I】

A 4 4 B 11/28

A 6 2 B 18/08 C

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 19 日 (2019.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ストラップを接続するためのバックルであって、  
一位置から延在するように構成されたカブラと、  
ストラップ接続孔が形成されたストラップ接続部であって、マスク本体に接続されたストラップに前記ストラップ接続孔が接続されているストラップ接続部と、  
前記一位置に接続されて、前記カブラに対向するように構成された面を含むフック部と、  
を備え、  
ヘルメットのトップ又はヘッドクレードルのトップが、それらの位置が固定されるように、前記カブラと前記フック部との間に収容される、バックル。

【請求項 2】

連結凹部が、前記カブラにおいて、その外端部から凹状に形成されている、請求項 1 に記載のバックル。

【請求項 3】

前記カブラは、  
中央連結部材と、  
前記中央連結部材の両側に形成された側部連結部材と、を含み、  
前記連結凹部は、前記中央連結部材とその両側に形成された前記側部連結部材との間の境界を画定するように形成されている、請求項 2 に記載のバックル。

【請求項 4】

円筒形の本体を更に備え、  
前記カブラと前記フック部とが前記本体から突出するように形成され、前記ストラップ接続部は、前記本体から独立した部材として設けられる、請求項 1 に記載のバックル。

【請求項 5】

前記カブラは、前記本体に対して所定の角度で傾斜するように突出する形状に形成される、請求項 4 に記載のバックル。

【請求項 6】

前記カブラは、

前記カブラの中央に形成された貫通孔の内部に収容されて前記貫通孔の複数の内側面のうちの一面から突出するように形成された可撓性部材と、

前記可撓性部材の端部において前記フック部に向かって突出するように構成された加圧突起とを含む、請求項4に記載のバックル。